

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
・理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
・サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 風の森 B棟
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	長崎県南島原市長野762番地
記入者名 (管理者)	相川 由美
記入日	平成 19年 7月 20 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	介護理念を玄関に掲示し、日常的に目に触れるようにしている。また住み慣れ親しんだ地域で、馴染みの関係を作りながら生活を送れるよう各棟毎の目標を掲げ、日々の生活への援助目標としている。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
	事務所に掲示したり、共有のスペースに掲示し常時職員の目に触れるようにしてある。また、朝の申し送り時に勤務者全員で唱和しており共通した思いで援助が出来るよう日々努力している。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		
	入所前に十分な説明を行い同意を得ている。また、来客者の目に届く場所に掲示している。推進会議等でも公表し理解をして頂いている。		
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	日常的に散歩などに出かけお互いが顔なじみの関係になり気軽に挨拶ができる。季節の花や農作物など近隣の方々からの頂き物も多く感謝している。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		
	地域の祭りに参加させて頂いている。また近隣の小学校からはイベント事への招待を受けたり慰問に来てくださることもある。平成19年6月9日には津軽三味線の慰問を受け地域の方々や他のグループホーム・デイサービスの利用者・学童保育の児童の皆さんも参加され150名程度の観覧があった。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>高齢者福祉をより多く理解して頂くためボランティアの受入を行っている。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の研修会に多くの職員で参加し自己評価は全職員で取り組んでいる。また外部評価の結果については報告会で全職員に周知し問題意識をもって日々取り組みを行っている。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>自己評価、外部評価の内容を公表し施設の取り組み内容を具体的に伝えている。率直な意見を頂けるように和やかな雰囲気の中行っている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の広報の取材を受け広報誌に掲載されたり、市が取り組んでいる事業にも参加している。現在はサンフラワープロジェクトに参加し入居者の方々とひまわりの種をまき成長の過程を見守っている。また施設長は市の環境対策審議会・男女共同参画懇話会のメンバーとして取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在該当者はいないが管理者は研修等への参加で理解はしている。</p>		
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>運営者、職員は県が主催した身体拘束廃止推進員養成研修を受講しており会議において全職員周知させている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な時間を取り説明を行い同意を得ている。また重要な事はその都度家族または本人様に説明を行い納得していただいている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>要事項説明時、苦情の申し出のシステムについての説明を行いまた苦情の申し出が無記名でできる様苦情箱を設けている。また話しやすい環境を作るよう努めている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に施設便りを家族の方へ送付している。また病状の変化等は家族へ連絡し家族の意向を確認しながら医療機関との調整を行っている。面会に見えた際も最近の状況や変化等についてもお伝えする時間を頂いている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>何でも言っていただける雰囲気作りを心掛けている。現在苦情等の申し出は無いが申し出があった場合、謙虚に受けとめ話し合い、検討、報告を行う体制は整えている。また風の森便りの中でもご意見やご要望等の周知を行っている。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>定期的にミーティングを行い勉強会や意見交換を行い広く意見を聞き反映させている。また提案を実行した場合、検討の期間を儲け再度ミーティングで改善点が無いか話し合っている。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>家族等との話し合いを行い臨機応変な対応ができる様努めている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>顔なじみの職員によるケアに勤めている。新しい職員を向かい入れる場合は紹介の時間を作ると共に顔なじみの職員を交えた体制をとり対応している。風の森便りでも掲載し家族の皆様にも周知を心掛けている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修・勉強会にはより多くの職員が参加出来るようにしている。研修後は資料等を添付し報告を行なっている。疑問な事は上司に相談しアドバイスをもらい意識向上を心がけている。	
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム研究会に加入し研修などに参加した際、他の施設の方々との情報交換をしている。	○ 当施設で行ったイベントに他のグループホーム利用者様やスタッフの参加があった。今後も参加の募集や訪問の機会を作って行きたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日常より職員のストレスや悩み等、話しを聞き、職員同士の人間関係を把握するよう努めている。	
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の資格取得には支援を行うよう努めている。取得後は本人の意思を尊重し職場内で活かせる環境作りに努めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時から本人様や御家族の状況・状態を確認し、それに応じた支援の提案を行っている。繰り返し聴く機会を作り必要なサービスに繋がるようにしている。ご家族の方に退席していただきご本人だけの時間を設けご本人の意向の確認を行っている。	
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時から本人様や御家族の状況・状態を確認し、それに応じた支援の提案を行っている。繰り返し聴く機会を作り必要なサービスに繋がるようにしている。ご本人がいらっしゃらない時間を設け御家族の意向の確認を行っている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護保険(地域包括支援センターを含む)・高齢者福祉・障害・生活保護・権利擁護等を含め必要時は相談助言を得るよう努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	状況に応じ自宅訪問の回数の調整・利用者の方及び家族の施設訪問の調整・入居後は外出の機会や外泊、家族の面会の調整等を心身の状況を勘案し調整を試みている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その人に合った声かけ、対応を行うよう努めている。楽しい場面と一緒に大きな声で笑い、悩まれている時は時間をかけて話を伺ったり状況に応じては側で見守る。等の事を行いながら共に悩み、解決の方法を考えて行く事に努めている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話にて家族の方より、心身の状態等を尋ねられた際は、状態を伝え病院受診等を相談したりと本人を支えていけるよう協力している。また状態変化時のみの相談だけではなく改善の状況や経過等も報告し共に支えていく体制をとっている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人様や御家族の方が外出・外泊を希望された場合、本人様の状態を伝え外出が良いか外泊が良いか御家族の方と検討し安心して過ごして頂けるようにしている。また疎遠な状況にならないよう支払いを現金で御願ひしたり、必要な物を持って来て頂いたり係りを大切にしている。	○	花見やイベント等の御家族の参加を呼びかけているがなかなか参加につながらない。検討し今後も呼びかけていきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の方や、友人の方にお手紙を書きたいと希望された際は、いつでも書いて頂ける様準備している。年賀状や、暑中見舞のハガキ等、友人・家族の方に書いて頂いたりしている。また墓参り等への支援も行っている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	手伝いたい支えたいとのお互いの気持ちを大切にしている。また一人一人の能力を勘案し人間関係や状況を配慮した中で自分の役割を見つけていただけるよう努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	一人暮らしの在宅復帰の方や高齢者世帯の方に対し自宅訪問や係りがある介護支援専門員との情報の交換を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や要望をかなえる事が困難な場合はケア会議等で本人の意向等を状況的に判断し家族等に協力の御願い話し合いの機会を設けている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居までの経過や理由、昔からの習慣などを御本人や御家族の方に聞き取りを行い、大切にされていた物、馴染みの品等は持ち込んでいただくよう御願している。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	落ち着かれる場所や興味があられる事を把握し一人ひとりの生活リズム、起床～就寝までの過ごし方を把握すると共に、表情・食事状態を観察し普段と違う心身状態を見分けるなどを心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様には担当の職員を決め介護計画を立てる際は、本人様の意向を第一に考え家族の意向を確認し計画作成者と共に意見の交換を行いながら作成に努めている。作成に対しては同意を頂き、ケア会議等で意向に沿ったケアが出来るか等の意見交換を行いながら進めている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時・更新時・状態の変化時等は介護計画の見直しを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のファイルを作成しその日の状況・言葉・言動を記録に残し情報を共有している。また記録に残した事柄で検討が必要な場合はケア会議で検討し対応やケアの方向性を見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院・入院・退院・付き添い等ご家族と相談を行いながら必要な支援を提供できる様努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議のメンバーに市町村職員・地域の代表の方々に協力を御願ひし協力体制を築いている。日頃より駐在所の警官さんが巡回を行ってくださる。また近隣の小学校との交流を行い支援していただいている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人様ご家族の意向を尊重し意向に沿ったサービスが利用できる様相談できる体制は整っている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護についての勉強会等に参加し必要時は対応できる様体制は整えている。	○	現在は包括支援センターとの協働の機会はない。困難事例や地域、行政、民生委員の方々、インフォーマルな支援を含めた在宅復帰も考えられる。皆様が安心して生活できる様包括支援センターと協働で行って行きたい。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、家族と相談を行い協力し通院介助を行ったり、通院が困難な方には訪問診察に来てもらっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	状況に応じ家族や本人の意向を確認し主治医とのパイプ役を務めたり受診の手配・治療の段取り等を行い適切な診断や治療を受けていただけるよう支援を行っている。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日々の健康管理や状態変化を介護職員が確実な記録を残し、看護師と医療機関との連携体制を確保している。また気軽に相談や最新の医療情報を共有できる仲間作りも出来ている。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	情報の共有に関しては同意を得、家族・施設・医療機関と情報を共有し早期退院の支援に結びつけている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関する指針を取り決め医療機関・家族・施設の方向性を共有している。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	看取りに関する指針の説明を行い24時間対応の医療連携体制も整えている。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	御家族や本人様の同意を得住み替え時必要なサービスが継続し提供されるよう移り住む前から計画を立て交流の機会を設けサービス提供者と顔馴染みになり安心した生活が送れるよう努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>生活暦や個人の性格等を勘案した言葉賭けを行っている。また面会者等の記録は他の訪問者が閲覧できないよう個人情報の流失を配慮した記録をとっている。職員は個人情報を含めた守秘義務があることは周知している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ゆっくりと入居者様のペースに合わせて、本人の気持ちを聞き会話を行なう様に心がけている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入浴、食事等は本人様の意向でいつでも利用できる様体制を整えている。希望があった事柄に対しても対応できる様職員の体制を確保している。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>希望の理美容室があらわれる場合は意向に沿い支援している。出かける事が困難な方は出張サービスを利用し本人様の意向を確認したカットを行っていただいている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>野菜を入居者様と共に栽培し収穫の喜びを共有し食材の一部として利用している。食材の下ごしらえや、味見、味付け、後片付け等も能力を勘案しながら一緒に行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>入居時嗜好の聞き取りを行い出来るだけ意向に沿えるよう本人様家族と協議し方向性を決めていく。また他の入居者様との関係を保ちながら状況を勘案した提供を行っている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンの情報収集等を行いケア会議で検討し個人様の状況や能力に応じた支援を検討し実施している。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	いつでも要望に答える事が出来る体制をとっている。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活暦や聴き取りで長年の生活習慣を把握し穏やかに過ごしていただける様努めている。また体調や状況に応じ安心して休息していただけるよう支援に努めている。		
地域密着型サービス評価の自己評価票				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	意欲や能力を勘案し出来る事の見極めを行い役割を持って日々を過ごしていただけるよう支援を行う。また職員も手伝っていただいたり協働で作業をおこなった際は必ず労いの言葉、感謝の言葉の声掛けを行っている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理したい方には自分で行っていただいている。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣のお店への買い物や散歩を自分達が好きな時間に出かけられている。散歩の途中で地域の方々と話をしたり時にはお茶を頂いたり楽しく時間を過ごされている様子が伺える。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お墓参りや家族との旅館へ宿泊の機会作りや支援を行っている。季節ごとには花見や紅葉を楽しんだり、買い物に出かけたりしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人様の希望がある場合いつでも手紙を書いていただけるよう準備している。年賀状や暑中見舞い等の季節には促しを行い意向に沿った支援を行っている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間の定めは行っていない。また宿泊していただく事も可能です。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する資料を作成し知識を深める努力を行い、身体拘束のないケアを実践している。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者、職員共に鍵を掛けないケアに取り組んでいる。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	部屋への入室は必ず声を掛けて入室を行うよう努めている。個人の時間、友達と過ごす時間等を大切にし見守りを行っている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人の部屋は一人ひとりの状況や能力を配慮したベッドの位置や家具の配置などを家族を含めた話し合いで決めている。また状態の変化や気分転換等部屋の模様替えの場合は常に本人様・御家族のご意向に配慮したものをやっている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救命講習の参加や避難訓練への参加の中で学び事故防止等に取り組んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	研修や講習に参加し対応できるようにしている。	○	今後も機会あるごとに参加を呼びかけて行きたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防の協力を得、避難訓練・消化訓練を実施している。加え職員間での自主訓練も行っている。定期的に緊急通報の機能の確認及び職員への緊急時連絡体制の確認も行っている。地域の協力の御願いは行っている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	個人によって御家族を含めた検討を行いセンサーの取り入れ歩行のを状態にあった支援、見守りを行っている。外出や散歩を楽しまれる方の散歩コースの安全の確認、近隣の方々の理解と協力をえ楽しく自分達のペースで散歩を楽しむ事ができられる様支援しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期発見に努める為にも日頃より健康チェックを行い記録に残し変化や異常時には主治医へ報告相談を行い指示を仰いでいる。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時に医師より指導を受けている。また、薬管理に処方内容を記録し、職員が内容を理解できるようにしている。服薬後、服薬チェックに記入し管理している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を取り入れている。また腹部のマッサージを促したり、職員が行ったりしている。毎日排便の有無や回数を記録し把握しており、必要の応じ主治医へ相談を行っている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアは、一人ひとりの能力に合わせ促し・見守り・介助を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	高齢者に馴染みのある料理を提供するように心がけ、食事は毎回チェック表に記録し、全職員が把握している。必要に応じ水分摂取量も記録し一日の摂取量を把握している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のファイルを作成し、全員が周知している。また洗面所や障害者トイレではペーパータオルを使用している。冬季や外出後は手洗いやうがいをしている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板やふきんは、毎晩消毒し清潔を心がけている。食材は毎日購入し新鮮な物を提供している。作り残りや食べ残しはその都度処分している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先のプランターに季節の花を植え、明るい雰囲気になる様に心がけている。来訪者が来られた時、気軽に腰掛けていただけるように玄関に椅子を設置している。	○	玄関ホールには雛飾りや節句人形を飾り季節を感じていただいている。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	オープンキッチンで食事作りを行なうことにより、家事に参加がしやすく、音やにおいを感じていただくことによって食欲への刺激にもなっている。また、食卓や食器は家庭で使用しているものになっている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールや廊下にソファを設置し、一人で過ごしたり、気の合う仲間と自由に過ごしていただくようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔より使用されていたタンスなど、家族の方が購入された椅子・仏壇など、一人一人に合わせた物を持って来て頂き、その方が居心地よく過ごして頂けるよう支援している。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	臭いや空気の入換えは、居室にいらっしゃる際は本人様へ確認し窓を開け換気している。又は、換気扇を入れるなどの配慮を行っている。室温調節は、温度計にて測定し本人様と相談し調節している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ、浴室等に手すりを設置し、バリアフリーにて車椅子使用可能できるよう、安全確保や自立支援に配慮している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ等に目印を示しているが状態変化に応じて声掛けを行い不安を取り除き、職員で話し合い新たに、その方に合った修復や工夫をしている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に、畑・花植えなどのスペースを作り、栽培から収穫までを楽しみながら活動できる環境を作っている。また、ベンチを設置し日向ぼっこをして自由な時間をゆっくりと穏やかに過ごして頂けるよう支援している。		

サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

施設内だけが生活の場でないと考え、散歩や外出、買い物等、地域の方々との係わりを常日頃より心がけている。また、子供たちとのふれあいも大切に小学校との交流、学校行事への参加やボランティアの積極的な受入を行っている。家庭的な雰囲気を大切に、出来る限り家庭に近い環境を目指し、庭には今まで目にし馴染みのある柿の木、みかんの木、桜の木等を植え四季を感じていただき一緒に過ごしてる。また、きゅうりやトマト、ねぎなどを入居者様と一緒に栽培し、収穫を共に喜び、共に食している。出来る限り掃除、洗濯、食事作り後片付け等を共同で行い、役割を持つ事を大切にしている。